

大分教育事務所訪問②-51 (計124)

大分市立敷戸小・植田東中はばたき分校に学ぶ
学校経営から学ぶ

はばたき分校の職員は、一人一人の子ども達の幸せを願い、子ども達が主体的に学習に取り組めるように特別な支援を行いながら、それぞれの適性や能力等に応じた「学びを保障する学校」として、一貫性をもったブレない指導を行っています。

特に、自分の心の状態と向き合い、気持ちをコントロールすることができる児童生徒を育成するために、子どもが自分で伝えられるまで待ったり、言語化できるような支援を行ったりする指導を行っています。また、問題行動があった場合は、どうしてそうなったのかを振り返らせ、子ども自身が課題へ向き合うことを大切にしています。

また、全職員が適切に対応できるよう学部長や教務主任を中心に、学部間や養護教諭、事務職、補助教員も含め、迅速で緻密な連絡体制や情報共有、さらに「愛育学園はばたき」や専門機関やとの協働体制と情報管理など、機動的な組織マネジメントとなっています。

これまでの前例や経験がほとんどないことに真摯に取り組まれ、新たなことに挑戦されている職員の皆様には頭が下がる思いでいっぱいです。同時に、これらの実践や「はばたき分校のきまり」「問題行動の予防、初期対応」「教職員の基本的スタンス」は、多くの学校において大変参考となるものばかりです。私自身も学びたい、学ばなければならぬと思いました。

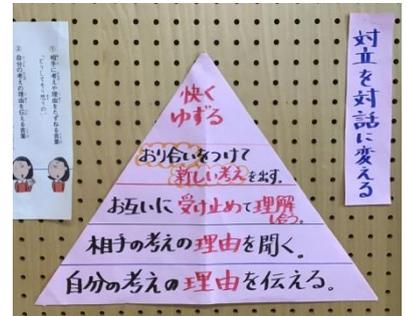
授業から学ぶ

全学級の授業を参観させて頂きました。4年国語では映像や対話を通して子どもの発言を引き出しながらも、授業の課題からそれないような発問は見事でした。国語「似た言葉・反対言葉」では、友達に教科書を見せる等温かな学び合いが行われていました。3年生の「社会科かるた」では、個別対応を行いながらも協働的につくりあげる工夫が見事でした。5年外国語ではホテルやレストランの会話という実践的な内容を、VTRを使うことで子ども達の関心を引き出していました。6年生のプログラミングでは子ども達が何度でもチャレンジできるような安心



感のもと、自分が描いたキャラクターを取り入れる等それぞれの個性が発揮できていました。中1生社会は貴族と武士の立場を、高さで表すことで本時の課題に迫ることができました。数学では多くの問題を解くことで、自分の課題を見つけ自ら克服するような指導が行われており、生徒も成長を感じていました。

このような素晴らしい実践が行われるのは「はばたき研究室だより」で、授業における基本的な内容に加え、対象児童生徒へ指導の工夫や、学習上の困難に応じた指導の工夫例が示されているからだと感じました。授業研究のレベルの高さを感じました。



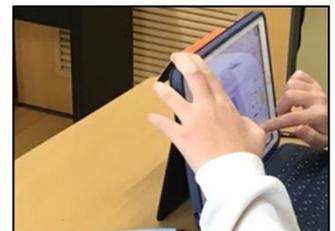
真の優しさ

困っている友達に、そっと教科書を見せる。思いだけでなく行動することが真の優しさ。



努力の証

最初からできる人はいない。すぐに成果はでなくても、努力すれば必ず成長する。



発信力

プログラミングを学んでつくった世界に一つだけの作品。私らしさを発信します。